

「一支国」

勝本町にある「壱岐イルカパーク&リゾート」へ行ってきました！
今年の干支のウサギ「ゆきみくん」
に会ってきました。ぴょんぴょん跳
ねるウサギのように飛躍の年になり
ますように

～新年を迎えて～

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年12月に県内の養鶏場では初めてとなる高病原性鳥インフルエンザの疑似患者が確認されました。高病原性鳥インフルエンザは10月の国内での初確認以降、全国的な発生が確認されており、発生予防のための取組みを強化されている中での発生でした。当該農場における飼養衛生管理については今後の報告が待たれますが、これまでの発生農場における疫学調査では、農場や鶏舎に入る際の長靴の交換といった基本的な衛生管理が守られず、長靴交換の実効性が確保されていない事例があるとのこと。改めて関係者の皆様におかれましては、飼養衛生管理基準の徹底と自己点検をお願いします。

一方、昨年10月に開催された第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会においては、壱岐地域から出品された種牛や肉牛代表牛が輝かしい成績を収め、県勢全体としての成績向上に貢献されました。このことは、これまでの和牛改良を通じた地域における人づくり牛づくりの取組みが高いことを証明したものです。当所としても今後も更なる品質向上に向け地域一体となり取組んでまいります。

この一年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。

壱岐家畜保健衛生所長 殿川 剛

壱岐振興局農林水産部 壱岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県壱岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920)45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920)45-3386

鳥インフルエンザに最大限の警戒を！

12月22日、佐世保市の養鶏場において県内で初めて高病原性鳥インフルエンザの発生が確認され、飼養家さんの殺処分及び埋却、移動制限区域及び搬出制限区域の設定、消毒ポイントの設置等の防疫措置が執られました。

今シーズンの国内養鶏場における高病原性鳥インフルエンザの発生は、10月28日の初確認以降これまでに23道県54事例が確認され、野鳥においても全国的に本病ウイルスの検出が続いており、全国的に環境中のウイルス濃度が非常に高まっている状況と考えられます。

○国内養鶏場における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

(令和5年1月3日現在)

発生地域	確認日	飼養状況
1 岡山県倉敷市	10月28日	採卵鶏 17万羽
2 北海道厚真町	10月28日	肉用鶏 17万羽
3 香川県観音寺市	11月1日	採卵鶏 4万羽
4 茨城県かすみがうら市	11月4日	採卵鶏 104万羽
5 岡山県倉敷市	11月4日	採卵鶏 51万羽
6 北海道伊達市	11月7日	肉用鶏 15万羽
7 岡山県倉敷市	11月11日	採卵鶏 3.4万羽
8 和歌山県白浜町	11月11日	あひる等 約60羽
9 兵庫県たつの市	11月13日	採卵鶏 4.4万羽
10 鹿児島県出水市	11月18日	採卵鶏 12万羽
11 新潟県阿賀町	11月18日	肉用鶏 15万羽
12 宮崎県新富町	11月20日	採卵鶏 16万羽
13 青森県横浜町	11月20日	肉用鶏 12.2万羽
14 香川県観音寺市	11月22日	肉用鶏 2.4万羽
15 香川県観音寺市	11月23日	採卵鶏 1.4万羽
16 宮城県気仙沼市	1月11日	肉用鶏 2.1万羽
17 鹿児島県出水市	11月24日	採卵鶏 7万羽
18 千葉県香取市	11月26日	あひる(あいがも) 約20羽
19 鹿児島県出水市	11月27日	採卵鶏 47万羽
20 福島県伊達市	11月29日	肉用鶏 1.7万羽
21 和歌山県和歌山市	11月30日	採卵鶏 4.6万羽
22 鳥取県鳥取市	12月1日	採卵鶏 11万羽
23 鹿児島県出水市	12月2日	採卵鶏 12万羽
24 鹿児島県出水市	12月4日	採卵鶏 3.4万羽
25 愛知県豊橋市	12月5日	採卵鶏 31万羽
26 佐賀県武雄市	12月6日	採卵鶏 3万羽
27 鹿児島県出水市	12月7日	採卵鶏 6万羽
28 福島県飯館村	12月7日	採卵鶏 10万羽
29 山形県鶴岡市	12月8日	採卵鶏 2.7万羽
30 鹿児島県出水市	12月8日	採卵鶏 6.3万羽
31 愛知県豊橋市	12月8日	あひる(あいがも) 約1000羽
32 鹿児島県出水市	12月9日	採卵鶏 22万羽
33 香川県三豊市	12月11日	採卵鶏 8万羽
34 鹿児島県出水市	12月11日	採卵鶏 2.2万羽
35 青森県三沢市	12月15日	採卵鶏 137万羽
36 広島県世羅町	12月16日	採卵鶏 12万羽
37 沖縄県金武町	12月16日	採卵鶏 4.5万羽
38 埼玉県深谷市	12月17日	採卵鶏 19.4万羽
39 鹿児島県南九州市	12月18日	採卵鶏 3.5万羽
40 福岡県糸島市	12月19日	採卵鶏 5.4万羽

発生地域	確認日	飼養状況
41 鹿児島県阿久根市	12月19日	採卵鶏 7万羽
42 広島県世羅町	12月19日	採卵鶏 18.7万羽
43 岡山県美咲町	12月20日	あひる(あいがも) 2.3万羽
44 宮崎県日向市	12月21日	肉用鶏 5万羽
45 鹿児島県阿久根市	12月21日	肉用鶏 3.7万羽
46 長崎県佐世保市	12月22日	採卵鶏 2.7万羽
47 茨城県笠間市	12月22日	採卵鶏 11万羽
48 福岡県糸島市	12月26日	肉用鶏 3.6万羽
49 広島県世羅町	12月27日	採卵鶏 12.7万羽
50 埼玉県狭山市	12月30日	採卵鶏 13万羽
51 広島県世羅町	12月30日	採卵鶏 29万羽
52 群馬県前橋市	1月1日	採卵鶏 1.5万羽
53 千葉県旭市	1月3日	採卵鶏 1万羽
54 福岡県古賀市	1月3日	だちょう(エミュー) 約400羽



家きんを飼育されている皆様においては、引き続き家きん舎専用長靴の使用、家きん舎立入前の更衣、手指や長靴の消毒、飼養衛生管理区域及び家きん舎入口の消石灰散布、金網、壁、防鳥ネットの補修等、家きん舎に本病のウイルスを入れないための対策をお願いします。

<p>家きん舎専用の服や長靴の使用</p>	<p>手指や長靴の消毒</p>	<p>家きん舎周囲等の消毒</p>	<p>金網、壁、防鳥ネットの補修</p>

吉岐地区口蹄疫防疫演習を行いました

中国など近隣国では本病が継続的に発生しており、人や物を介した日本への侵入リスクは依然として高い状況です。

このようなことから、昨年11月に管内での口蹄疫発生を想定した防疫演習を行いました。

今回の演習内容は

1 支援センターの設営と運営

支援センター設営想定施設において、センター内での機材・資材配布の確認並びに動線（受付、健康相談、資材配布、防護服の着衣、手荷物の預かり）と各作業内容の確認を。



2 防疫拠点の設営と運営

清浄ゾーンと準汚染ゾーンを設け、動線確認を行うとともに、防疫作業従事者の防護具着衣と脱衣を。



3 消毒ポイントの設営と車両消毒

車両消毒場所の設営、従事者による車両誘導、通行車両の記録・証明書発行、動力噴霧器による車両消毒の実演を。



4 殺処分・埋却作業（今回はDVDの視聴）

本病のまん延を防止するためには**早期発見**、**早期通報**が重要です。毎日、家畜を観察し、**特定症状**（泡沫性流涎、口腔内あるいは蹄の水疱等）が見られたら、すぐに**家畜保健衛生所へ連絡**してください。

第12回全国和牛能力共進会成績

去る10月6日から10日に第12回全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催されました。壱岐地区から4頭が、長崎県代表牛として出品されました。皆様から応援をいただき、優秀な成績を収めることが出来ました。

5年後には北海道で開催されます。壱岐地区から多くの代表牛を出品できるように頑張りましょう！



第3区出品の田中ご夫妻と『かの号』

出品区	出品牛名	出品者	成績	優等賞1席
第1区	百合椿	肉用牛改良センター	優等賞12席	鹿児島県
第2区	やすのかつ	五島市	優等賞8席	大分県
第3区	かの	壱岐市	優等賞8席	宮崎県
第4区	あいかな	平戸市	優等賞6席	鹿児島県 (名誉賞)
	おりひめ	平戸市		
	はるな	平戸市		
第5区	やすさち	松浦市	優等賞7席	鹿児島県
	はるさち	松浦市		
	ゆりさち	松浦市		
第6区 (種牛群)	さくら	平戸市	優等賞4席	鹿児島県
	すみれ	平戸市		
	ことぶき	平戸市		
	あかり	平戸市		
第6区 (肉牛群)	竜慶	壱岐市		
	九留理	雲仙市		
	慶太	佐世保市		
第7区	勝晴平	壱岐市	優等賞9席	宮崎県 (名誉賞)
	豊内紀	長崎市		
	幸晴平	大村市		
第8区	幸男	壱岐市	1等賞	鹿児島県
特別区	はずき	諫早農業高校	優等賞13席	鹿児島県

飼養衛生管理基準の遵守徹底を！

国内においては鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病の発生が継続し、また、近隣国においては口蹄疫やアフリカ豚熱の発生が確認されています。これから人や物の移動の増加が見込まれ、一層の病原体侵入防止の徹底が重要です。

自分の家畜をこれらの伝染病から守るだけでなく、呼吸器病や消化器病の発生を減少させ生産性を向上させるためにも飼養衛生管理基準をしっかりと遵守しましょう。

【飼養衛生管理基準の主な項目】

衛生管理区域への立入者や消毒等記録の作成及び保管

衛生管理区域に立ち入る車両の消毒

衛生管理区域及び畜舎に立ち入る際の手指消毒

衛生管理区域や畜舎専用の衣服及び靴の設置及び着用

給餌設備、給水設備等への野生動物の排せつ物等の混入の防止

記録の作成・保管



農場入口キャビネット内や畜舎入口に記録簿を設置

車両の消毒



消石灰帯による消毒
立入禁止の看板・ロープ

手指の消毒、長靴の交換・消毒



畜舎入口に手指及び
長靴の消毒設備設置



農場入口に手指消毒薬
専用の長靴設置

動物用医薬品は正しく使いましょう ～ 薬剤耐性菌を増やさないために～

抗生物質などの抗菌剤が効かない細菌である『薬剤耐性菌』が問題となっています。抗菌剤は細菌による動物や人の病気を治すための薬剤ですが、薬剤耐性菌の出現により、抗菌剤による治療ができなくなることもあります。

薬剤耐性菌の出現をなくし、安全・安心な畜産物を生産するために、下記に示すように動物用医薬品を適切に使用しましょう。

薬は獣医師の指示に従って使用しましょう。

投薬中や投薬後の動物・畜舎には表示を行い、出荷時に休薬（出荷制限）期間を間違えないようにしましょう。

出荷する動物や牛乳・卵を出荷している動物は治療記録を確認しましょう。

書類や帳簿を保管しましょう。

- ・ 動物用医薬品の購入伝票や使用記録
- ・ 動物用医薬品指示書や出荷制限期間指示書

和牛の遺伝資源を保護するために、精液・受精卵の適正な取扱いを！

精液・受精卵と証明書の一體的な取扱い

容器と証明書の記載内容が一致するよう適切に管理してください。

証明書の記載事項は正しく記載してください。

精液・受精卵のみ又は証明書のみでの譲渡はできません。

精液・受精卵の保管場所を施錠し、盗難を防止してください。

不正流通や血統矛盾防止のため、流通管理を徹底しましょう



家畜人工授精簿の適切な記載・保存

人工授精・受精卵移植を行った際は、遅滞なく記録し、5年間保存してください。授精証明書発行前の使用済みの精液証明書・ストローは家畜人工授精簿に添付するなど、速やかに照合できるように保管してください。

授精証明書・移植証明書の適切な交付

精液証明書等を適切に貼り付けてください。

交付した写しを5年間保管してください。

実際に使用していない精液等の証明書を流用することはできません。

使用済みの証明書には、消すことのできないペンなどで全体に×を記載してください。



令和4年度繁殖障害特殊講習会を受講しました

令和4年9月28日から10月14日まで、千葉県で開催された繁殖障害特殊講習会を受講しました。個別実習で滞在した館山市は東京湾ごしに富士山が見える景勝地で、マリンスポーツなどのレジャー客で賑わっていました。

我が国の酪農発祥の地とされる千葉県で、直腸検査などの研修を2週間みっちりとおこなっていただきました。

右の写真は、子宮内薬液注入に挑戦している所です。本講習会で学んだ事を活かし、長崎の畜産振興に貢献していきたいと思っております。

獣医師 堀川

